

料金一覧

	ベーシック評価	アドバンス評価	グッドガバナンス認証
	評価料	評価料	年間認証料(認証期間3年間)
大規模 (経常支出1億円以上)	10,000円 (10,800円)	120,000円 (129,600円)	150,000円 (162,000円)
中規模 (経常支出2,000万円以上~1億円未満)		80,000円 (86,400円)	60,000円 (64,800円)
小規模 (経常支出2,000万円未満)		50,000円 (54,000円)	40,000円 (43,200円)

※ベーシック評価の更新の年は、あらたに評価料がかかります。

()内は、消費税込みの金額

グッドガバナンス認証の更新の年は、年間認証料に加えて、あらたにアドバンス評価料がかかります。

お申込み方法

必要書類をサイトからダウンロードしご準備ください。

<https://jcne.or.jp/catalog/>

対象団体と有効期間

対象団体 特定非営利活動法人(認定・特例認定含む)、一般社団法人、一般財団法人

評価・認証の有効期間 ベーシック評価 3年間・グッドガバナンス認証 3年間

※ベーシック評価の有効期間は3年です。更新は評価を受けた団体の任意です。アドバンス評価に進まず、ベーシック評価のみ更新をしていくことも可能です。

※ベーシック評価からアドバンス評価に進み、認証保留となった場合は、改善期間を設けています。

※グッドガバナンス認証の有効期間は3年です。年間認証料のお支払いにより認証マークの使用が継続できます。

評価・認証についてのQ&A

Q1 申込みたいのですが、最初に何をすれば良いですか？

A 最初にベーシック評価にお取り組みください。必要な様式をダウンロードしてください。
<https://jcne.or.jp/catalog/>

Q2 評価を受ければ、認証がもらえるのですか？

A 認証に進むためには、ベーシック評価の全ての基準をクリアし、アドバンス評価で必要基準数をクリアする必要があります。基準をクリアした団体のうち、認証審査委員会が認証した団体のみにグッドガバナンス認証が付与されます。

Q3 認証されない場合は、それで終わりですか？

A 認証保留となった団体には、改善に向けてサポートを提供します。認証保留から1年の間に改善した場合は再度、認証のチャンスがあります。

一般財団法人 非営利組織評価センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11-2 日本財団第二ビル3階

TEL:03-6457-9721(平日9:30~17:30) FAX:03-6457-9722 Mail:office@jcne.or.jp <https://jcne.or.jp/>



Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

非営利組織の グッドガバナンス認証のご案内



グッドガバナンス認証

信頼性を「見える化」しませんか？

一般財団法人 非営利組織評価センター

グッドガバナンス認証、それは非営利組織の「信頼性」を意味します。

近年、NPO等非営利組織による事業内容の充実ぶりや社会課題解決への真摯な思いに接する機会も増えています。一方で、NPOへの信頼性は低いままで。諸外国では慈善団体の評価認証が実施され、情報公開が行われていますが、同分野において日本は立ち遅れています。ある調査では、警察、裁判所、軍隊、大企業、行政、政党、宗教団体、慈善団体など社会の様々な機関に対する信頼度を国別に意識調査したところ、**日本では慈善団体への信頼度が非常に低い**ことが分かっています。一方、諸外国では慈善団体を信頼度の高い機関と位置付けています。
(出典: World Values Survey)

NPOが信頼性を高め、幅広い支援を継続的に獲得できる社会へ。

信頼性とは漠然としたものです。

けれども、支援する側が支援する際に最も重要視するものであり、

信頼性を定義し、説明できる形が社会で求められています。

そこで私たちは、信頼性を形に表した組織評価を実施し、支援者との架け橋として分かりやすい**信頼性の証**として認証マークの普及を図っています。

グッドガバナンス認証は信頼性を示す指標として、

「自立」と「自律」の力が備わっているNPOであること、すなわち

「グッドなガバナンス」を維持している組織を非営利組織評価センターが認証し、組織の信頼性を担保するものです。

信頼性を「見える化」することにより、

NPOが幅広い支援を継続的に獲得できるよう手助けをする仕組みです。



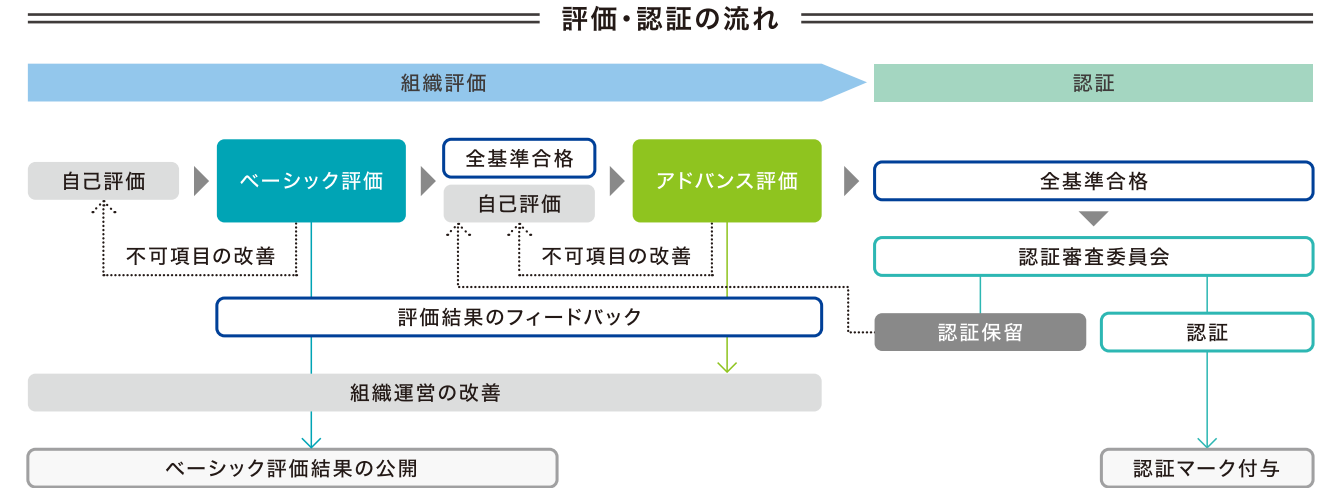
第三者認証とは

組織自身ではなく、外部機関が第三者として、審査し、認証をするものです。

組織との利害関係がない、公平・公正な判断ができる第三者機関の認証を受けることにより、支援者・協力者に対し、またNPO自身にとっても信頼性の向上が期待できるものです。

例えば、ISO認証やプライバシーマークなどもそれにあたります。

グッドガバナンス認証は、2つの組織評価で構成されています。



ベーシック評価とアドバンス評価の基準を満たし、認証審査をへてグッドガバナンス認証が取得できます。

2つの評価の構成

	ベーシック評価	アドバンス評価
評価項目	5分野 23項目	4領域 12分野 27項目
大項目	組織の目的と事業の実施 ガバナンス コンプライアンス 情報公開 事務局運営	学びと創造 市民参加と連携・協働 社会的責任と信頼 自立と自律
目的	基礎的な組織状態の 達成程度の判定	的確な組織マネジメント力と 業務遂行能力の多面的・総合的判定
手法	書面を使った評価方法	書面+評価員による訪問評価方法
所要期間	2か月程度	3か月程度
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ●専門家からのアドバイスによる組織の基礎基盤の改善 ●評価結果公開による広報アピール 	<ul style="list-style-type: none"> ●組織の自立と自律や事業プロセスなど外部から見えにくい組織運営の評価によるさらなる改善 ●訪問評価により、より実態が見える第三者評価結果のアピール ●認証へのステップアップ

評価は改善のためにするものです。組織評価はコンサルタントからのコンサルティングを受けるものと同様な効果が得られ、組織基盤強化に使える便利なツールです。

グッドガバナンス認証マークは多様な活用が期待できます。

信頼性をアピール

マークを信頼性の証しとして、アピールできます。

名刺に使うことができます。サイトや案内フライヤーなどで支援を求めることができます。



CANPANの団体ページにマークが付与され、信頼性のアピールができます。

多様なメリット

他団体との差別化などのメリットが期待されます。



※認証団体公開後に提携を予定しています。